

紙風船



9月も後半に入りました。前半は給食センターの閉鎖により、子どもたちに毎日お弁当をもたせていただき、大変ありがとうございました。おかげさまで、毎日の学校生活を変わらず続けることができました。保護者の皆様のご理解とご協力に、心より感謝申し上げます。

さて、秋晴れが続いています。9月に入ってから学校へお客様がいらっしやいました。

学校評議員会

2日(木)学校評議員会を開き、3人の評議員さんをお迎えしました。子どもたちの授業の様子を一巡して見ていただいたあと、懇

談をもちました。

以下、主に話題になったことです。

・新型コロナウイルス感染症拡大に関わって

休まなければならない子どもの辛さを嘆くだけでなく、これも経験として今後に生かすことを考えていく。もしかするとこの状況が当たり前になるかもしれない。だから、タブレットPCを大いに活用してほしい。そういう時代だ。ただ、手書きすることをおろそかにはしないでほしい。

・「分からない」と言える雰囲気的大事に

「先生の言うことには一生懸命取り組める」「大人の目がよく行き届いている」「失敗経験が少ない」。これらは良くも悪くも小規模校の特徴である。だからこそ、子どもたちには黙って待っているのではなく、自分で「分からない」と意思表示ができるようになってほしい。先生方の支援は、子どもの声を受けてから行うとよいのではないか。

「地域の中で遊んでいる子どもを見なくなって寂しい」という言葉が印象に残りました。「子どもは遊びの中で育つ」というお話もいただき、ますます小学校が地域に果たす役割がいかに大切か、考えさせられました。

今年度も引き続き次の方々へ、評議員をお願いしています。

A. N 様
S. E 様
A. M 様



学校訪問と研究授業

14日(火)、仙北出張所長等4名の方々をお迎えしました。子どもたちの授業の様子を見ていただき、懇談をもつ中で、「子どもたちは大変落ち着いており、協力して勉強に向かっている」と元気

いっばいの様子をほめていただきました。

そして、「先生方には笑顔で子どもたちに向かってほしい。それが子どもたちが生き生きと活動していることにつながっていく」と励ましていただきました。がんばります。



15日(水)、6年生の図工の研究授業がありました。造形遊び「学校を楽しく変身させよう」という学習です。本校は別名「ひのきないこども美術館」と称するほど、校内はたくさんの作品や仕掛けであふれています。それを参考に、自分たちのアイデアを発揮しながら作り替えてしまおう、と言う時間でした。

子どもたちの発想にはいつもうれしい驚きがあります。

授業には、お隣の桧木内中学校とひのきないこども園から先生方が参加してくださいました。連携し合う中で、外部からの意見をいただくことはありがたいことです。

研究協議会では、指導主事の先生からご指導をいただきながら、図工の教科研究協議を行いました。改めて気付くことや考えさせられたこと等、たくさんありました。今後の授業に生かしていきたいと思えます。

<ほんのささいなつぶやき> by yonezawa

何をめあてにして子どもに声をかけるかで、結果が変わる。上手にできることをほめれば、できない(苦手な)子どもは意欲を失う。作品が早く完成することをほめれば、できばえより速さを重視する子どもになる。言葉は怖い。言葉は大事。諸刃の剣。